あげしお

令和６年６月６日
鷹南学園三鷹市立第五中学校
校長　櫻井　勉
第４号

「あげしお」～物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

◇学校教育目標◇

・進んで考える人
・情操豊かな人
・心身ともに健康な人

学校ホームページリンク
http://www.mitaka-schools.jp/gochu-jhs/

仲　間

校長　櫻井　勉

2002年の春、ドバイ日本人学校での任期を終えて帰国すると、次の勤務校はなんと自分の母校であるM中学校でした。「仲間を大切にできること」をたった一つの入部条件にしてラグビー部を立ち上げると約20名の部員が集まり活動がスタート、チームは順調に育っていきました。

しかし、当時都内にラグビー部のある中学校は私立・公立合わせても30校程度だったため、練習試合も公式戦も電車・バスを利用して遠くの会場に行かなくてはならず、引率に気苦労が絶えないことに加え、各家庭にかなりの金銭的負担をかけていることが悩みの種でした。

創部から1年後、中学校時代からの友人3人と帰国後初の同期会を開き、私の母校着任を喜ぶ彼らと懐かしい話に花を咲かせている中で、ラグビー部の遠征費用の件も話題にあがりました。すると一人が「M中にラグビーのゴールポストが立てば交通費はかからないよな？」とつぶやきました。
「おお、そうか！」と他の二人も共感すると同時に、3人はペーパーナプキンを広げて図面を書き始めました。専門用語が飛び交う中、話に入れずポカンとしていた私の横で、あっという間に話がまとまってしまいました。

3か月後、行政からも異例の早さで許可が出され、土木会社社長が測量と重機、鉄筋工場の息子がポール用の鉄パイプ、建設会社社員がコンクリートミキサー車を担当して準備が整いました。

着工日、十数名のラグビー部員が工場から鉄パイプをかついで運搬、校庭待機組は土木会社の人に指導を受けながら、スコップでの深い穴掘り。「地域の人たちと力を合わせ、自分たちのラグビーグランドを、自分たちの手で作っている」という充実感で、部員たちの顔はキラキラと輝いていました。

こうして当時の公立中学校としては2校目となる会場校としてM中がデビュー。部員も保護者も交通費を使うことなく自分の学校で公式戦を行えるようになりました。

すべて地域住民と地元企業からの寄付という形で立ったこのゴールポスト。やや細めの鉄パイプ製でしたが、立てるたびに仲間たちとの太い太いつながりを感じずにはいられませんでした。

もしも自分が仲間を大切にしてこなかったら、母校に赴任するという奇跡が起こらなかったら、あの同期会のメンバーが一人でも欠けていたら…、あのゴールポストが立つことはなかったでしょう。

当時のことを思い出すたびに、これまではあまり気に留めていなかったさりげない「出会い」や、あたりまえにそばにいる「仲間」をもっともっと大切にしたいという気持ちが自然にわいてきます。

5月の体育大会では、全力で仲間を応援する姿、仲間の声援にパワーをもらってさらにがんばる姿、クラス・学年の枠を越えて健闘をたたえ合う姿がとても印象的でした。うれしさもくやしさも含めて体育大会がかけがえのない思い出になったのも、そこに「仲間」の存在があったからです。

三鷹五中の生徒のみなさん、何より「仲間を大切にできる人」でいてください。いずれ遠い場所に離れたとしても、長い間会うことがなくなったとしても、同じ地域・学校で、同じ時を過ごした人々は、みんなかけがえのない仲間であり続けるものだと私は信じています。

数十年後、みなさんが、どのような「仲間」になっているか、とても楽しみです。

５月25日(土)･･･ 五中の校庭は温かな思いが溢れる素敵な空間となりました。練習から当日に至るまでの過程すべてに意味があり、その価値を理解しているからこそ、誰もが懸命に走り、跳び、声援を送り… という素晴らしい時間になったのでしょう。この体育大会は、爽やかな思い出を五中生全員にもたらしてくれました。閉会式で全員で叫んだ「輪勝意！！」･･･ きっと、忘れることはないでしょう…。

優秀賞　奨励賞　～体育大会を彩ったクラスフラッグ～

体育大会が終わりましたが、皆さんは少しでも笑顔になったり、楽しめたりしましたか。また、スローガンの「輪勝意」を達成することができましたか。僕は、クラス全員で輪になり、楽しみあった最高の体育大会になったと思います。体育委員会では、たくさんの時間をかけて体育大会を盛り上げる準備をしてきました。少しでも楽しかったと思ってもらえると嬉しいです。そして、1･2年生にとって今回の体育大会は次への「基準」にもなります。来年は今回を超える、更に最高の体育大会を作っていってください。
「輪勝意！！」

体育委員長　唐澤　信篤

今年度も体育大会にご協力いただき、ありがとうございました。私自身初めてのことも多く、周りの方にたくさん支えられながらでしたが、新しい体育科の先生方や生徒とともに作り上げた素敵な体育大会になったのではないかと思います。そして実行委員長として生徒の輝きをたくさん見せてもらいました。練習を重ねるごとに団結力が増していく1年生のいかだ流し。試行錯誤を重ね、回数とともにレベルアップしていく2年生の大縄跳び。チームとしての団結、勝利への意志を見せた3年生の大むかで。クラスが分かれても一生懸命取り組み、お互いを讃え合う E 組の生徒の姿。最後に、選手宣誓で誓った「みんなが笑顔になれる体育大会」ができたこと、体育委員長唐澤さんの願いでもあった「輪勝意！」と全校で言えたこと、本当に嬉しく思います。

体育大会実行委員長　菊池　将公

優　勝

3年生:A 組　　2年生:C 組　　1年生:A 組

学年種目１位

3年(大ムカデ):A 組　　2 年(大縄跳び):C 組　　1 年(筏流し):A 組

ありがとうございました

ご来賓も含め、900 人を超える保護者の方々から温かな声援をいただきました。

また、今年度も生徒たちはPTA･鷹南祭実行委員会より拝借したテントのおかげで、安心して競技に集中することができました。PTA･おやじの会の方々が生徒登校前の朝早くから設営をし、閉会式後には片付けまでしてくださいました。受付や駐輪場の整理なども… こういった温かなサポートが、生徒たちの笑顔の源です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。